



◆◆◆【CSのねらい】◆◆◆

平成30年度に始まったコミュニティ・スクールは、5年目を迎えました。この2年間は、コロナ禍で取組を十分に実施することができませんでした。「地域の子どもたちの育ちをみんなで支える」ために、地域・学校・保護者がこれまで以上に組織的に連携を深めることが重要です。



1 学校を開く…「学校情報」をこれまで以上に積極的に発信する

- ・学校だより等の積極的な情報発信(学校間、幼児教育施設、図書館郷土資料館)
- ・公開方法の工夫(HP, 安心メール等)

2 小中一貫教育の視点

- ・地域で目指す子どもの姿を小・中学校と地域で共有する(熟議の工夫)
- ・具体的な活動の推進(合同避難訓練、家庭学習強調週間の同時実施等)
- ・学校は令和5年度の経営計画での位置づけをする

3 安心安全な登下校や学校生活等



- ・登下校の見守り(パトロールボランティア活動など)
- ・巡視活動(育成協や育成委員会、PTA活動との連携)
- ・一日防災学校(避難訓練)の協力
- ・「あいさつ運動」の実施

4 学校をサポート

- ・教科指導援助(体育指導や見守り、和楽器指導、家庭科指導、道徳指導等)
- ・施設見学や職場体験への協力
- ・地域行事への参画
- ・PTA活動との連携



コミュニティ・スクールの魅力

子ども

- 子どもたちの学びや体験活動が充実します
- 自己肯定感や他人を思いやる心が育ちます
- 地域の担い手としての自覚が高まります
- 防犯・防災などの対策によって安心・安全な生活ができます



教職員

- 地域の人々の理解と協力を得た学校運営が実現します
- 地域人材を活用した教育活動が充実します
- 地域の協力により子どもと向き合う時間が確保できます

保護者

- 学校や地域に対する理解が深まります
- 地域の中で子どもたちが育てられているという安心感があります
- 保護者同士や地域の人々との人間関係が構築できます

地域

- 経験を生かすことで生きがいや自己有用感につながります
- 学校が社会とつながり、地域のよりどころとなります
- 学校を中心とした地域ネットワークが形成されます
- 地域の防犯・防災体制等の構築ができます



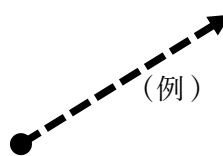
教育委員会として啓発活動に取り組みます

- ことぶき大学や子ども会の会合時に説明する
- 各学校を訪問して教職員に説明する
- CS通信「つなぐ」の発行をする
- 事務局への助言等、学校運営協議会への支援をする



《学校運営協議会の役割》

- ◎学校の運営方針の承認
- ◎学校評価の実施
- ◎地域で子どもを育てる取組の推進



(例)

- ◎通学の見守り
- ◎あいさつ運動
- ◎スケート学習サポート
- ◎ラジオ体操・警察体操